

今週（5月15日から5月19日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、週初15日が積み最終日となった事で取り上がる動きが見られたものの、積み期間が切り替わった16日以降は、レート水準がやや低下する展開となった。

無担保コールO/N物は、積み最終日となった15日は、調達余力を残していた先も多く、総じて取り上がる展開となり、▲0.025～▲0.010%近辺での出会いが中心となった。積み期間が切り替わった16日以降は、基準比率が71.5%から66.5%へ大幅に引き下げられた。ビッドサイドの調達意欲もやや低下した事で、改めてレート水準を探る展開となり、16日から18日までの出会い水準は、▲0.034～▲0.033%に低下して推移した。19日は週末となったが、大きな変化は無く概ね横這い圏での取引となった。

ターム物は、ショートターム物を中心に▲0.040～▲0.020%近辺で出会いが見られた。

日銀の当座預金残高は545兆円程度からスタートし、週半ばには国債の発行などを受け542兆円程度まで減少したものの、週末には国債買入オペなどの影響により544兆円程度まで戻す見込みとなった。

●レポ市場

今週のO/N GCは、▲0.12～▲0.08%のレンジでの取引となり、足元GCは安定的に推移する展開となった。

SCはカレント銘柄近辺や、チーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、18日の入札結果を受け、1Yゾーンが軟調に推移した。

18日に実施された1Y物の入札は、按分落札利回り▲0.1251%、平均落札利回り▲0.1371%と、弱め結果となったが、結果発表後のセカンダリーマーケットでは底堅く推移した。19日に実施された3M物の入札は、按分落札利回り▲0.1523%、平均落札利回り▲0.1631%と、無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでは横ばい圏での推移となった。

短国買入オペは、16日に前回と同額の1,000億円でオファーされ、按分利回較差、平均利回較差ともに+0.005%と、無難な結果となった。

●CP市場

今週のCP市場は、週次の発行総額が6,200億円程度であったのに対して、償還総額は5,300億円程度と、小幅ながら発行超のマーケットとなった。

市場発行残高は前週から引き続き24兆円台前半での推移となり、大きな変動は見られていない。

発行レートは、日銀の適格担保銘柄では概ね0%から小幅のプラスレートでの決着が中心となった。また、前週のCP等買入オペの結果も後押しとなってか、大型案件や期間が長い案件についても目立った変化は見られなかった。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
5/15 (月)	29,626.34	0.405	136.00	△ 0.023	△ 0.099	5,450,600
5/16 (火)	29,842.99	0.390	135.95	△ 0.034	△ 0.097	5,427,600
5/17 (水)	30,093.59	0.360	136.43	△ 0.033	△ 0.100	5,430,600
5/18 (木)	30,573.93	0.380	137.53	△ 0.034	△ 0.102	5,419,500
5/19 (金)	30,808.35	0.400	138.35	△ 0.031	△ 0.107	5,438,400

来週（5月22日から5月26日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
5/22 (月)	3月の機械受注統計(内閣府 8:50)		
5/23 (火)		10Y 物価連動 2,500億円 5/24発行 交付税借入 13,000億円 5/31借入	4月の米新築一戸建て販売件数
5/24 (水)			4月の英消費者物価指数
5/25 (木)		40Y 7,000億円 5/26発行	1-3月期の米GDP改定値
5/26 (金)	5月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 4月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)	TB3M 63,000億円 5/29発行 交付税借入 13,000億円 6/2借入	4月の米個人所得・消費支出 4月の米耐久財新規受注

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
5/22 (月)	700	▲ 4,900	▲ 4,200	CP買入 国債補完	▲ 400 26,100		25,700	21,500	TB3M発行▲63,000償還63,000 TB1Y発行▲35,000償還32,000 変動15Y償還2,000 流動性供給▲5,000 エネルギー借入▲8,400期日8,000
5/23 (火)	1,500	▲ 2,000	▲ 500	社債買入		1,000	1,000	500	交付税借入▲13,000償還13,000
5/24 (水)	▲ 500	▲ 3,000	▲ 3,500	全店共通	▲ 7,900		▲ 7,900	▲ 11,400	10Y物価連動発行▲2,500
5/25 (木)	1,000	13,000	14,000				0	14,000	国有林野借入▲491期日590
5/26 (金)	▲ 500	5,000	4,500	新型コロナオペ	▲ 5,400		▲ 5,400	▲ 900	財政融資資金(地方貸し) 40Y発行▲7,000
週間合計	2,200	8,100	10,300	—	12,400	1,000	13,400	23,700	

5/22は日銀予想、5/23以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、特段大きな変動要因がない事から、出会い水準は引き続き▲0.030%近辺で推移すると予想される。債券レポ GC T/N物は、▲0.120～▲0.080%近辺での推移が予想される。短国市場は、26日に3M物の入札実施が予定されている。また、23日に実施が予想される短国買入オペは、1,000億円程度が見込まれる。CP市場は、26日にCP等買入オペが予定されており、結果が注目される。

主要なイベントは、国内では、22日に3月の機械受注統計、26日に5月の都区部消費者物価指数、海外では、23日に4月の米新築一戸建て販売件数、25日に1-3月期の米GDP改定値、26日に4月の米個人所得・消費支出(PCE)などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等を負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入